



大きくても小味なイチゴ

私もそうですが、湖北のイチゴ農家のほとんどは、冬でも暖房をせず育てます。そのため、1個の実が熟するまで時間がかかり収穫数は落ちますが、冬の寒さの中で時間をかけてじっくり育つため、糖度や酸度を蓄えやすく、味の濃い甘くておいしいイチゴになり、その味が春獲りのものまで持続します。そして、収穫数よりも大きいイチゴを育てることにこだわっています。大きいからと言って大味ではありません。じっくり育てていますので繊細な味になります。

このように、甘くて濃厚なイチゴをがんばって育てていますので、もっと地元の人に湖北のイチゴを愛してもらいたいし、他産地のイチゴとともにスーパーに並んでも、お客さんが、湖北のイチゴだとわかって買ってくれたら嬉しいですね。



もちろん失敗もありますが、自分の工夫したことがよい結果に表れたときの快感は、やっている者にしかわからないかもしれません。また、湖北莓出荷協議会ができてから、イチゴ農家どうし横のつながりができ、情報交換により技術の向上も図れ、何よりも共通の話題を持てる楽しさがあります。

寒さを逆手に甘みあるイチゴ

冬の寒い長浜の地は、イチゴに向きではと思われがちですが、その寒さを逆手にとってじっくり育てられ、その分甘さが増します。冬場のイチゴは練乳をかけて食べるものと思っていました。長浜のイチゴは、そんなものは無用だというのを育ててみて初めてわかりました。また、地元の方には、朝採りイチゴを届けられるので新鮮で本当においしいです。味は他産地にも負けないと思っているのです。そこをどういう風にPRしていくかが今後の課題です。

若者のチャレンジで裾野拡大を

イチゴを含めた施設園芸は、私も親から世襲したわけでなく一から始めたので、若い人が農業を始めるには比較的やりやすいと思います。ですから、若い方はどんどんチャレンジしてほしいです。

イチゴはテーブルにあるだけでも幸せ感があり、何よりも食べた時の子ども達の笑顔が最高です。そんなイチゴが地元にあることをもっと知っていただきたいですね。

松本靖夫さん

松本農園（小谷上山田町）

様々な栽培技術を駆使して育てます

私は平成15年からイチゴ栽培を始めました。当時、周辺にイチゴ農家がなく、雪が降る寒い地域で果たしてイチゴができるのかと不安に思いながら、知り合いから使わなくなったハウスを譲ってもらい、自分で整備しました。イチゴの品種は、寒い地域でも比較的収量が見込める「かおり野」を中心に栽培しています。

イチゴ栽培の醍醐味は、他の農作物と比べて栽培、収穫期間がとても長いので、その中で様々な栽培技術を駆使して育てられるところです。

特にハウス栽培は、あまり自然に左右されず、自分でコントロールできるのです。なおさら創意工夫が試されます。



自分で工夫した栽培方法でよい結果が出たときの喜びが醍醐味です



生産者の皆さんががんばっている様子がヒシヒシ伝わります

岡本和寛さん

株式会社フタバヤ（八幡中山町）
果物バイヤー兼長浜店果物チーフ

ここ2年でいちごに対する姿勢が変わった

湖北産のイチゴは、地元のイチゴということでお客様にも人気があります。以前は、イチゴの大きさ、品質など生産者によって極端に違うこともあり、また生産者の皆さんも生産者中心の考え方で、お客様に販売しにくい面がありました。

しかし、ここ2年は、湖北莓出荷協議会を中心にパッケージの統一、品質の均一化が図られており、また、私たちバイヤーとの意見交換会も実施され、生産者の皆さんも、お客様中心のイチゴ作りの考えのもと、力を入れていくことがヒシヒシと伝わってきます。

最近のお客様は商品に対してとて

長浜で栽培している主ないちごを紹介！

■章姫（あきひめ）



長めの円錐形をしていて、果皮はやわらかめです。糖度が高く、酸味が少ないので甘く感じるイチゴです。

■紅ほっぺ



粒が大きく鮮やかな紅色をしていて、果肉も赤くなります。果皮はかためです。糖度が高いうえに酸味も高いので、甘酸っぱさを感じるイチゴです。

■かおり野



見た目はオレンジ系の橙赤色です。果実が大きく、食味は、酸が少なくさわやかな味で、上品な香りが特徴のイチゴです。

も勉強されていて、値段が高い品でも、質の良い品なら買ってくれます。湖北産いちごについても、他産地と比べて値段は少し高いですが、「地元のイチゴでない」とダメ」と喜んでくれるお客様がいて、リピーターやファンが増えつつあります。これも生産者や市場の努力の賜物ですね。

できる限り地元産イチゴを仕入れたい

今後とも生産者の皆さんには、さらなる品質向上を目指していただき、私たちもできる限り地元産を仕入れ、お客様にPRし、湖北産のイチゴを盛り上げていきたいと考えています。

冬の寒さにじっと耐えながら「おいしさ」を凝縮していく「湖北夢いちご」。

この甘くておいしいイチゴを生産者・流通事業者・小売店がそれぞれの役割のなかで品質向上、普及・PRに取り組んでいます。

市では、イチゴ栽培用ビニールハウスやハウス施設事業補助などの支援により、イチゴ生産の裾野拡大を図るとともに、湖北莓出荷協議会と連携し、まずは市内の消費者に地元のおいしいイチゴを食べてもらい、繰り返し買ってもらうよう、普及・PRを行っています。

スーパーや直売所のコーナーが長浜産イチゴだけで真っ赤に染まることを期待します。